

業務のコリをほぐします

EXCEL VBA

実践教室

第4回

牧村 あきこ
MAKIMURA, Akiko
Office Makimura
<http://www.makim.net/>

シート名をたよりに ファイルを探す



ファイル検索機能を作ってみよう

あのととき作成したデータはどこだっけ？ 仕事をしているとこんなことが多々あります。

Excelデータの場合、「確か、シートに“なんとか営業”って名前をつけたんだよな」というおぼろげな記憶をたよりにひとつひとつファイルを開き、シート名をチェックして中身を確認しなければならない……。そんなこともあるでしょう。

そんな面倒なファイル探しの補助ツールとして、今回は、特定の文字を含

むシートを検索するプログラムをすることにします。できるだけ実用的な作りとするため、指定したフォルダ内にある、サブフォルダを含むすべてのExcelファイルの中からシート名を検索できるようにしてみましょう。



今回作成する プログラムを確認

まず、作成するプログラムの仕様を確認しておきましょう。セルに検索用の文字列と検索対象となるフォルダを入力してプログラムを実行すると、指定した位置にファイル名と

シート名が表示されるようになっていきます。

仮にCドライブの直下に、図1のような階層構造になっているデータがあるとします。Excelのファイルは全部で7つありますが、「営業」という文字が含まれるシート名を持つファイルは、丸印の付いた4つです。

今回のサンプルプログラムでは、「営業」という文字列で図1のtestAフォルダを検索すると、6つのシート名が検出されます（図2）。

なお、サンプルファイル「2006_08_ExcelVBA.xls」には、今回作成するプログラムが収められています。サンプルプログラムでは、Cドライブの直下にデータが格納された「testA」フォルダがあるということが前提となっていますので、最初に「testA」フォルダを、Cドライブの直下にコピーした後、メインプロシージャの「Sheet Search」を実行するようにしてください。

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

▪ VBA

ツール >>> Tool

▪ Excel 2002
▪ Excel 2003

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoehisha.com/mag/windev/>
からダウンロード可能です。

図1：サンプルデータの階層構造

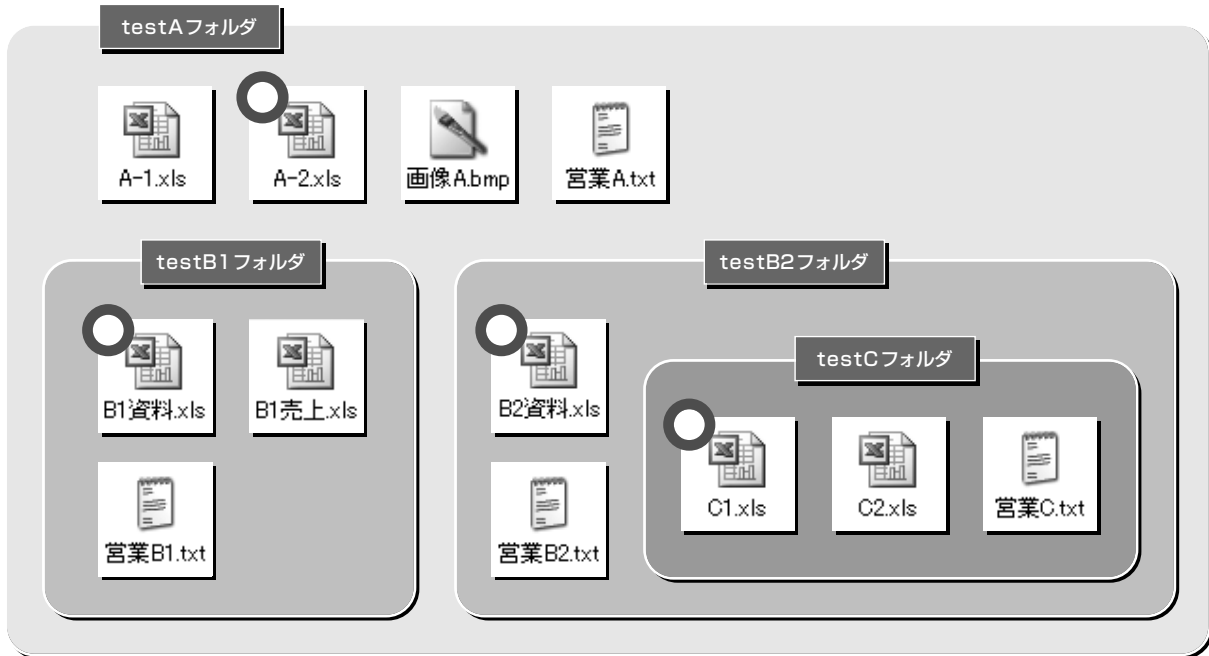


図2：プログラムの実行イメージ

① B2セルとB3セルに検索条件を入力して、プログラムを実行すると

② 作業用の情報として、B列には検索フォルダ名が、C列には左上に位置するフォルダ内のExcelファイルの一覧が表示される

③ 検索結果が「ファイル名+半角スペース+シート名」の文字列として、E列に表示される。ここでは、4つのファイルから6枚のシートが検索された

👍 ファイルシステムオブジェクトでフォルダをチェック

では早速、プログラムの作成に取り掛かりましょう。Excelのメニューから [ツール] - [マクロ] - [Visual Basic Editor] を選択すると、Visual Basic Editorが起動します。

今回はファイルシステムオブジェクト（以下FSO）を利用してファイル検索の仕組みを作りたいと思います。

そこで、メニューから [ツール] - [参照設定] で参照設定画面（図3）を呼び出し、「Microsoft Scripting Runtime」にチェックを入れ [OK] ボタンをクリックして、モジュール内でFSOが自由に記述できるように設定します。

参照設定を終えたら [挿入] - [標準モジュール] を選択し、新規のモジュールを追加して、シート名を検索するメインプロシージャ「SheetSearch」（リスト1）を記述します。